

自立活動目標設定シート

学年・学級		氏名	
障害の種類・程度や状態			

児童の願いや困り感	小学校生活の締めくくりとして、給食をいっぱい食べ、授業に楽しく取り組みたい。
保護者の願いや困り感	一日一日を大切に、大好きな給食をたくさん食べて、色々なことに挑戦したり、楽しく過ごしてほしい。

障がいの状態、発達や経験の程度、興味・関心、生活や学習などの情報の収集					
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
○生活リズムが安定しており、体調が良好である。 ○日中は布パンツで過ごしており、写真カードや動作サインで自分からトイレに行くことができる。 △てんかん発作がある。目の揺れや口の引きつりが主だが、意識を失うこともある。 △上唇の力が不十分で食べこぼしが多い。	○はらぺこあおむし、ぞうさんの散歩、お辞儀の絵本、エレベーターのボタンがこの取っ手が好き。 ○基本的には情緒が安定している。 ○興味があることには、微笑みながら主体的に動く。 △活動中でも好きなものがあると、それに流されてしまう。 △次の活動に移行したり、やりたくない活動をしたりする前には、身体を硬直させたり、脱力をしたりして抵抗する。	○相手の腕を引っ張ってやってほしいことを要求する。 ○友達からの手をつなごうとする促しに応えることができる。 △担任を含め、慣れていない相手には警戒心が強く、特に身体を触られることに対しては抵抗が強い。 △基本的には一人遊びが多く、友達との関わりは少ない。	○身近な物(連絡帳・水筒・エプロン・かばん等)や動作(トイレ・着替え・手を洗う等)は、口頭指示で理解できる。 ○場所や手順について、何度も繰り返し行うことで覚えることができる。 ○聴覚優位。 △人や物を注視し続けることが難しい。	○チャックをつまむ、紙をちぎる、ふたをひねって開ける等の経験のある指先の動きはできる。 ○手すりがあれば一段一步で階段昇降を行うことができる。 △筋力を使う姿勢の保持が苦手である。 △急に身体に触られると、身体を硬直させたまま動かなくなることがある。 △身体の動かし方にぎこちなさがあり、階段で踏み出す際や慣れない動きをするときは、身体がこわばったり、スムーズに動けなかったりする。 △尖足歩行の傾向がある。	○呼びかけに対して拳手をすることができる。 ○簡単な言葉の指示を理解し、それに応じた行動ができる。

実態把握

文頭に良いところは○を課題点には△を記入。



※上記の実態把握を踏まえて3年後の姿をイメージして...

3年後の目指す姿	様々な動きに自分からスムーズに取り組むことができる。
----------	----------------------------



※3年後の目指す姿に近づくために今年度に取り組むべき年間指導目標

年間指導目標	教師の支援を受けながら様々な動きに挑戦することができる。
--------	------------------------------



短期指導目標	模倣することになれる。	足裏のバランス感覚や筋力を使った活動に取り組むことができる。
具体的な指導内容	○簡単な手遊び歌 ・児童の目の前で、個別対応を行う。 ・簡単な手遊び歌を選曲する。 ・できた際には大いに称賛する。 ○柔軟体操 ・手本を見せてから行い、慣れるまでは教師が支援する。 ・見通しがもてるように、毎回同じ言葉かけや手順で行う。	【遊びの中で、意欲的な動作を引き出す。】 ○チューブを利用した腕力を使って引くトレーニング ・チューブを引っ張った先に興味関心のある物を用意する。 ・意識する部位に教師が触れることで、意識や視線が向くようにする。 ○踏み台昇降 ・慣れるまでは教師が支援し、後ろ向きで下りる動きに慣れるようにする。 ・最後まで続けられるように、終わりがわかる支援や言葉かけを行う。 ○センサーマット ・遊びの中で取り組み、主体的に楽しみながら様々な感覚に慣れることができるようにする。 ・センサーマットの上を歩くことでバランスを取る経験ができるようにする。
具体的な指導場面	自立活動の時間	自立活動の時間